



善正寺だより

〒:512-0902
三重県四日市市
小杉町1014
浄土真宗
本願寺派
善正寺
TEL:0593-31-1670
FAX:0593-32-0733

掲示板法話

仏法に遇わなければ 今の私はない



いよいよ師走。大震災・原発事故、豪雨など、大変な一年が過ぎ去ろうとしています。それぞれにご苦労の多い一年をお過ごしになったことでしょうか。

先日、広島のお寺へ出講させて頂いた先で、懐かしい法友の方々とお会いしました。その中で二年ぶりに再会のMさんは、酸素吸入器持参ではありましたが、その善正寺でお話いただいた頃よりもずっと元気そうに見えました。ところが、昨年末自宅が火災で焼失してしまつたことを聞き、びっくりさせられました。Mさん自身は外出中で、家にいた高齢のお母さんと愛犬が無事救出されたことが何よりだった、と語っておられました。そして、「仏法に遇わなければ、今の私はないと思います」と力強く、かみ締めるように語って下さいました。彼女が輝いて見えました。

家の再建に当たっても、仏法を聴聞し、語り合う仲間たちが随分支援し、親身に助けてくれたお陰で金銭的にも随分楽に完成のよき日を迎えることができましたのだそうです。想像を絶するような人生苦の果てに、難病を抱え、そして母親の介護を続ける最中の火災に遭遇しても、くじけず乗り越えてこられたM

さんのことを朋友の人たちは「泥中に咲く白蓮華」と称え励まされたのです。Mさんの悲劇を「他人事と思えない」心で支え、支援の心を惜しまれなかった広島のお寺の御同行のお働きに感銘を受けました。まさに念仏の僧伽(さんが)、「法縁共同体」ではないでしょうか。

実は阿弥陀如来とは「一切衆生の苦惱を「他人事」と見られず、如(さとりの世界からこの娑婆世界に働きかけてくださっている活動体なのです。

このMさんが苦悩の淵をさまよっていた頃、仏道にご案内下さった方が沖縄県の小児科医、志慶真(しげま)文雄先生です。この先生、医院の二階に「まなざし開法道場」を開設され、毎月一回「なるほど！仏教連続講座」を開催される、大変熱心なお医者さんなのです。この方も広島大学時代、「歎異抄に聞く会」に通われた求道の積み重ねがありました。先生は連続講座のご案内で、「人間を支えているものは人間でないものも支えている。生命を支えているものは生命でないものも支えている。生を支えているものは死も支えている。：：無条件に許され一切は賜ったものである」と見事に人生の真髄を語っておられ

親鸞聖人七五〇回大遠忌法要団参
10月15日(土)50名で参拝



ます。苦難の中から立ち上がるMさんの力は「人生は苦なり」と逃げずに腹を据え、大いなる世界への覚醒から生まれたのです。十二月八日はお釈迦さまがこのおさとりを得られた日、成道会(じょうどうえ)であります。

平成24年度・前半の主な行事予定

◇「元旦会」午前9時より 正信偈

◇「報恩講」1月11日(水)午後1時半・夜7時・12日(木)午前10時

(講師)鎌田宗雲師(滋賀)

◇「報恩講お朝事」13日より16日まで4日間 毎朝7時より正信偈・説教

◇「永代経」3月17(土)18(日)尾崎裕正師(奈良)

◇4月21日(土)午後「初参式・降誕会」加藤幸子師(午後1時半三全仏婦主催の初参式に参加の赤ちゃん及び幼児を大募集中！参加費千円

◇5月20日(日)午前・総会と午後「公開法座」講師 石川欣也師

☆行事ご案内☆

☆「お内仏報恩講」

12月3日(土)夜7時半 庫裡

ぜんざい、酒食を用意しますのでご家族でお参り下さい

(年末年始の行事案内)12/23(祝)午前11時次男拳式

- ◇「除夜の鐘」12/31 夜11時45分
- ◇「元旦会」1/1 午前9時より
- ◇「報恩講」1/11(水)午前11時お非事(食事)午後1時半・夜7時、12(木)午前10時、講師 鎌田宗雲先生
- ◇「報恩講お朝事」13日、14日、14日、16日の連続4日間、毎朝7時より正信偈と説教、茶話会

◇キッズサンガ「除夜の鐘」と「元旦会」(お年玉付き)

毎日夕方5時の鐘撞きは誰でもOK 飴ガム付。年中無休

◇三重組コーラス 来年1/23(月)、2/14(火)、3/12(月) いずれも午後1時半練習 智積西勝寺様で

善正寺ホームページ「三重 善正寺」で検索。「つれづれ日記」が好評 長男もブログに参加、満3年3ヶ月で5万5千アクセス達成！悩み相談など大歓迎！ブログは毎日更新。ケータイからも見られます。

来年4月21日(土)午後1時半「初参式」(三全仏婦主催)赤ちゃんや幼児を大募集中！地域の皆で子供の成長を祝福。参加費千円 ☆一縁会テレホン法話集14冊目の新刊本『心おきなく迷って いける』発売中！059-354-1454へ3分間の電話法話！

坊守スケッチ

バスを乗り継いで鐘を撞きに来た子供

晩秋の夕暮れは瞬く間に暗くなる。ある日曜日、見慣れない男児が友達数名と5時の鐘を撞きにきた。

「何年生?何処から来たの?」「小4. ここまで2時間かけて、バスに乗り継いで来た。くりくり坊主頭のあどけなさの残る少年。「何故そんな遠い所から来たの?」「以前にも来たことがあるから。3月まで近くに住んでいたけれど引越した。」「お母さんはこのこと知っている?」「知っているよ。お金をもらったもの。」「一人で帰れるの?」「大丈夫、一人で来たから一人で帰る。でもバスは出たばかり、次のバスは1時間待たなくていけない。」「オバチャンが車で送ってあげよう」「いいよ、悪いから」と辞退したがしばらくして「やはり送ってもらおうかな?」と遠慮がちに言った。「君が車のナビをしてね。早めに指示を出してね」「いいよ。僕は道を知っているから」と小4の割にはしっかりした口調。車中、私は少年にいろいろ質問をした。こんな小さい子供を一人で遠くまで外出させて、親は心配しないのだろうか?何故少年が一人で寺に来たのか、その理由を知りたかった。「何故お母さんと一緒に来なかったの?」「家で寝ている。前は仕事していたけれど、ストラされた。僕と20歳になお兄ちゃんを産んだ時に無理をして体を壊

した。お兄ちゃんも中学生の時お父さんとケンカして家出した。」「お父さんはどうしているの?」「お母さんと離婚して別の女の所に行った。あつ、オバチャン行き過ぎだよ、バックして。話に夢中になっていたために右折を見越さなかった。すでに辺りは真暗になって何処を走っているかさえ分からない。Uターンすること三度、やっとお目当ての家の前まで来た。大きなパチンコ屋の真裏にあるアパートであった。夜遅く子供を一人で外出させるには危険な場所だった。転校先の友達に馴染めず、仲良しの元友達に会いたかったのか?皆で寺の鐘撞きに行つてご褒美にガムが欲しかったのか、その理由は分からない。少年が500円玉を握り締めて、一人でここまで来た心情を思うと可哀想で仕方ない。昔は「親の心子知らず」だったが、今や「子の心親知らず」の時代になった。大人の身勝手な事情で子供は傷つく。翌日から鐘撞きの子供がどっと増えた。「オバチャンが車で送ってくれたの?ありがとう」と友達が言った。少年の引越しをしなければならぬ事情を彼らも分かっていた。少年の寂しさも、やりきれなさも充分理解していた。子供の悩みを分かってくれる大人が一人でもいれば、彼らは救われる。そのセンサーに子供達は敏感に反応



する。遠くから一人で来た少年に届くように、子供達は今日も力いっぱい鐘を撞く。「またいつでもおいでよ!僕達がいるよ!」と響くように...

☆寄稿

四日市市川崎孝一

☆地区運の スプーンレースにふと思う 厨に在りし 木彫りの 杓文字

☆鉦の音の けたたましくて 俗に言う「がんがんさん」は 元三大師

☆碧天に 届かむばかりすくすくと 蒼持ち上ぐ 皇帝ダリア

四日市市 駅 妙水

☆吸入器 音だけむなし 夜長かな

☆弟よ 五分で月に 登りきり

☆コスモスや死出の山にも咲き乱れ

四日市市 駅 超道

☆満堂に 弥陀の本願 充ち満ちて 世の安穩を 我も願えり

☆カンバ有難う☆

正親市子様・加藤英子様・富田和代様・本田和子様・澤田美智江様・前川多恵子様・他匿名様よりお志・切手有難うございました

☆ホットニュース☆

☆11月2日小林英様(みゆきが丘)が四日市文化功労者《短歌》として表彰されました。おめでとうございます。 ☆12/3(土)夜7時半「お内仏報恩講」ご家族揃ってお参り下さい

☆12/23(祝)午前11時次男本堂で挙式、お披露目の菓子配布・キッズサンガの子供と親にお手伝い依頼。

☆新刊本「縁会テレホン法話」14冊目の本「心おきなく迷っていきける」発売中!

☆善正寺のホームページ「三重 善正寺」で検索可、毎日更新の「住職と坊守のつれづれ日記」が好評。開設3年3か月で5万5千突破1日平均80訪問

♪三重組コーラス♪

☆練習場所は智積西勝寺様で午後1時半・☆来年度1/23(月)・2/14(火)・3/12(月)

☆除夜の鐘 夜11時45分より

☆元旦会 午前9時より 本堂でお年玉つき友達を誘って来てね!毎日夕方5時の鐘撞きがあります。

お悔やみ申し上げます

☆後藤邦治様(10月12日亡・67歳・四日市市) 合掌

年末までの主な行事予定

◇12/3(土)夜7時半お内仏報恩講 ぜんさい・酒食用意、

◇12/23午前11時次男挙式

◇12月31日夜11時45分「除夜の鐘」誰でも撞けます!

☆編集子より ☆

「善正寺だより」第二一六号をお届けします。◇大震災から九カ月、寒さの募る東北に少しでも温かい心を送りたい。◇この一年若院の婚礼等、皆様ご厚情、ご支援有難うございました。どうぞ来年もよろしくお願い致します。合掌。

平成二十三年は我が家にとぞ思い出深い年となりました。
四月に長男結婚、十一月に次男挙式予定です。親として
肩の荷が下りた嬉しさ、一抹の寂しさ、交錯した複雑
な心境です。若嫁は寺の生活に慣れるまで、時間がかか
ります。私達も支えようので、どうか皆様も長い日
で見守って下さいませよう。お願い申し上げます。若い人も
新しい善正寺の顔として精進することでしょう。ところで
日在家仙教、十二月号で上沼雅龍師(臨濟宗住職)が「幸
せのはひふへほ」と題して寄稿していました。自分の欲望を
減らしていけば、周囲が何一つ変わらなくても、自分が幸
せに近づける。それには「はひふへほ」を実践することだ。
(は)は半分でいい。(ひ)は人並でいい。(ふ)は普通でいい。(へ)は
平凡でいい。(ほ)は程ほどでいい。とか人はあれも欲しい、これも
欲しいと欲望が次々に膨らみます。それが満たされないと
不幸だと感じてしまいます。幸せとは物質的な豊かさや充
足させることではなく、あたりまえの生活を淡々と送るう
ちに今の最高の幸せな時だと気づくことです。「仏の道」
に近づくと心は豊かになることを言うのではないでしょう。か
つまり、少し欲知足正の日常生活の実践こそが大事なあり
です。十二月の行事予定として十二月三日(土)夜七時半
「お内仏報恩講」を勤めます。若嫁も初参加です。
年末のお忙しい時とは存じます。お誘い合せてし
お参り下さいませ。次男本堂挙式は12月23日(祝)11時。それ
先立ち祝菓子配布もです。合掌 善正寺坊守輝

平成二十三年 十二月